

介護と介護事業を守り、よくする！  
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

## 天晴れ介護サービス式法定研修 記録について

■介護と介護事業を守り、よくするために

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社  
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

53

## 本日の内容（※ChatGPT参照）

介護職が記録について学ぶことは、利用者の安全とケアの質を向上させるだけでなく、チーム内での情報共有、事故防止、法的トラブル回避にもつながります。記録は介護職の重要な業務の一つであり、適切な記録を残すことで、介護の専門性が高まります。

- ・利用者の状態を適切に把握し、ケアの質を向上
- ・チーム内の情報共有がスムーズになる
- ・介護事故やトラブルの証拠になり、施設や職員を守る
- ・ケアプランの作成や評価に役立つ
- ・専門性を高めることにつながる

正しい記録の方法を理解し、適切な対応ができる記録は「書くことが目的」ではなく、「利用者のより良い生活を支えるための手段」です。日々の記録を適切に行い、介護の質を向上させていくことが大切です。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

54

# 講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣アカデミー協会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

55

# 本日の内容

記録について

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

56

# 記録がなかったら、不十分だったら？

1	利用者の体調の変化などの必要な情報が伝わらず、利用者の体調を悪化させてしまう。
2	
3	利用者の生活歴や趣味などの情報が分からず、一人一人にあったケアができない。
4	スタッフによってケアの内容がバラバラになってしまう。
5	利用者のできること、できないことが分からず、自立支援のケアが実現できない。
6	以前起きた事故を繰り返してしまう。
7	以上のことから、スタッフも不安を抱えながらケアにあたる
8	事故や苦情があった場合に、ケアの内容を思い出すことができない（証拠もない）
9	
10	介護保険の指定事業所として行政のチェックを受ける際に、実際に行ったケアを示す証拠が何もない。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

57

# 記録が重要視される理由

①証拠としての記録	介護報酬の根拠 (サービスを行ったことを示す)
	リスクマネジメント上の証拠 (安全上適切なケアを行ったことを示す)
②ケアの向上のための記録	理由・背景の共有
	自らのケアを自覚する
	利用者を気にかけるようになる
	中長期での検討が可能になる

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

58

# 記録の基本チェックリスト

基本として	
<input type="checkbox"/>	読める字で書く
<input type="checkbox"/>	修正液を使わず二重線を引き訂正印で修正する
<input type="checkbox"/>	主語、述語、数字を明確にする(「時々」や「少し」といった表現は避ける)
<input type="checkbox"/>	書かなければいけない項目を外さない
<input type="checkbox"/>	必ずサインをする(責任の所在と情報源を明らかにする)
<input type="checkbox"/>	略語の使い方に注意する
<input type="checkbox"/>	事実と推測(考察)は区別する(～と思われる, ～と考えられるなど推測であることが分かるように記載して区別する)
証拠として	
<input type="checkbox"/>	リスクマネジメントの視点(裁判において記録は唯一の証拠となり, 記録に残っていないと見なされる)
<input type="checkbox"/>	介護報酬の根拠(介護サービスを実施していることに対して, 介護報酬が支払われており, その実施の根拠となる)
<input type="checkbox"/>	空白があると, 改ざんをするためと思われる(修正液が不可なのも同じ理由による)

# 記録の基本チェックリスト

ケアの向上のために	
<input type="checkbox"/>	読み手を意識して, その場になかった人でも分かるように正確に分かりやすく書く(出勤していなかったのでも知れずということを防ぐ)
<input type="checkbox"/>	「点」ではなく「線」「面」として連続性の中でとらえる(1週間, 1カ月, 1年という単位で活用する)
<input type="checkbox"/>	理由, 根拠, 背景も記載する(「昼食を残した」だけではなく「私, もうおなかいっぱい」と言っていたなどの詳細まで書く)
<input type="checkbox"/>	まず, 気づかないと書けない。プロの介護とは, 気づく→心配する→考える→行動する
<input type="checkbox"/>	気づきの上で, 何をしてもどう反応があったかを記載する
<input type="checkbox"/>	次のケアを意識して記載する。失敗も次に活かすことができるので記録に残す
<input type="checkbox"/>	ケアプランに基づいて書く(実施し, 効果を検証する)
<input type="checkbox"/>	「わがまま」「頑固」「怒りっぽい」といった記載は不適切である(その主観は本当に正しいか? またこちらが原因であることもしばしばある)
<input type="checkbox"/>	家族に求められれば開示する義務があり, 家族が見ても納得するプロの記録が求められる
<input type="checkbox"/>	客観的スケールの活用(自立度, 長谷川式スケールなど)
<input type="checkbox"/>	図や写真を提示する方が分かりやすいことがある(家族図, 家屋図など)

## 記録の公式！

「状況」＋「対応」＋「反応」

状況：副食の焼きサバに手をつけていなかった

対応：「お嫌いですか？」と聞く

反応：「昔からサバは苦手で・・・」との答え。

以上の3つをつなげて書くと、こうなります。

「副食の焼きサバに手をつけていなかったので、『お嫌いですか？』と聞くと、『昔からサバは苦手で・・・』との答え。」

## 記録の公式！

状況：「うーっ」という大声をあげている

対応：「どうしましたか？」と聞きながら、身体全体を観察するとお腹が張っている。看護師とともにトイレに行き、いきんでもらう。

反応：大量の排便があった。すっきりした様子。

文章にすると

「『うーっ』という大声をあげているため、『どうしましたか？』と聞きながら、身体全体を観察。お腹が張っているため、看護師とともにトイレに行き、いきんでもらうと、大量の排便あり。すっきりした様子。」

# 食事ケアの視点

- 食事量
- 姿勢
- 咀嚼・嚥下
- 動作の自立・道具
- 食事内容・嗜好

# 食事ケアの視点と記載例

- 食事量
  - ・ 主食10割、副食10割、水分200cc摂取
  - ・ 普段は全量摂取だが夕食は半分ほど残された／ご家族（長男夫婦）の面会時におやつを多く食べていたためかもしれない。
- 姿勢
  - ・ 普段より食事摂取のスピードが遅く、姿勢も背もたれによりかかる感じ。
  - ・ 体温37.8℃。看護師に報告／水分を250ccをとって頂き、横になって頂いた
  - ・ イスが高いために足が床についていない／一段低いイスに移ってもらったら、姿勢が安定して幾分食べやすい様子／次回からは、65センチの高さの机を使用するともっと食べやすくなる可能性がある。



# 食事ケアの視点と記載例

## ■咀嚼・嚥下

・むせ込みがあった／看護師に報告、タッピング施行／念のため、一旦食事は中止した。

・お茶を飲む時にむせ込むことが増えてきた／本人と話し、ティースプーン半分程度のとろみ剤を試してみる／むせずに飲める様子。

## ■動作の自立・道具

・食事は全介助で行っていたが、自分で食べたいという言葉が聞かれた／食器に滑り止めシートをつけてみる／健側の左手だけでもフォークを使って食べることができた。本人も大変うれしそう。

## ■食事内容・嗜好

・副食の焼きサバに手をつけていなかった／「お嫌いですか？」と聞くと、「昔からサバは苦手で・・・」とおっしゃった／今後サバについては代食を用意できないか主任と相談。

# ケア内容ごとの視点

排泄ケア	入浴ケア	アクティビティ
1. 排泄物の状態・量・回数	1. 前後の体調	1. 機能的に適切か
2. 尿意・便意	2. 全身状態の観察	2. 興味があるか
3. 夜間のケア	3. 湯温、生活習慣	3. 表情・言動
4. 動作の自立・道具	4. 動作の自立・道具	4. 他者との交流
5. 羞恥心への配慮	5. 羞恥心への配慮	5. 日常生活への影響
整容・更衣	口腔ケア	移動・移乗
1. 定期的な実施	1. 動作の自立・道具	1. 動作の自立、道具
2. 動作の自立、道具	2. 異常の発見	2. 姿勢
3. 生活習慣、嗜好	3. 発音・嚥下	3. 意向
4. 意欲	4. 義歯	4. 表情、痛み
5. 日常生活への影響	5. 恐怖心への配慮	5. 服装
夜間巡視	業務日誌	送迎
1. 環境	1. 職員	1. 昨夜の様子
2. 呼吸、体温	2. 利用者	2. 移動、車の乗降
3. 排泄	3. 出来事	3. 車内の様子
4. 表情	4. 申し送り	4. 家族の様子
5. 服薬	5. 決裁	5. 連絡事項

# 記録の活用法

日にち	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
大声	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—
発熱	—	—	—	—	—	—	—	37.4℃	—	—	—	—
食事量	—	—	—	—	—	—	—	少	—	—	—	—
排便	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○
面会	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—
外出	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
夜勤者	A	B	C	D	E	F	A	C	D	E	B	F

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

67

# 記録の活用法

## ◆事故内容の分析

事故総件数 ( 件)			
事故レベル	◆事故レベル1 ( 件)	(利用者様に実害なし・要観察)	
	◆事故レベル2 ( 件)	(利用者様に実害軽微・事業所内の処置・受診したが異常なし)	
	◆事故レベル3 ( 件)	(利用者様に実害あり・受診して処置必要・その後通院・離設)	
	◆事故レベル4 ( 件)	(利用者様に実害あり・入院治療を要する)	
	◆事故レベル5 ( 件)	(事故により障害が一生続く、または死亡)	
発生	◆介助中 ( 件)	◆発見 ( 件)	
時間帯	◆6時～9時 ( 件)	◆9時～13時 ( 件)	◆13時～16時 ( 件)
	◆16時～20時 ( 件)	◆20時～6時 ( 件)	◆不明 ( 件)
場所	◆食堂・リビング ( 件)	◆洗面所 ( 件)	◆トイレ ( 件)
	◆廊下 ( 件)	◆居室 ( 件)	◆浴室・脱衣所 ( 件)
分類	◆転倒 ( 件)	◆転落 ( 件)	◆尻もち・ずり落ち ( 件)
	◆皮下出血 ( 件)	◆創傷 ( 件)	◆打撲 ( 件)
	◆窒息 ( 件)	◆熱傷 ( 件)	◆誤薬 ( 件)
	◆離設 ( 件)	◆紛失・破損 ( 件)	◆その他 ( 件)
	◆経過観察 ( 件)	◆軽微な処置 ( 件)	◆〇〇内科受診 ( 件)
対応	◆他病院受診 ( 件)	◆入院 ( 件)	◆その他 ( 件)

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

68



# 本日の内容

## 記録について

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

69

# 継続的な学習の重要性！

## ■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

## ■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

## ■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

70

# 継続的な学習の機会を持つために



## 影響力・インパクト



## 回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 介護現場をよくするライブラリー

ACS Appare Care Service 介護現場をよくするライブラリー

ホーム セミナー お気に入り 閲覧履歴

会員ログイン

キーワードで探す



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ

天晴れ介護サービス総合教育研究所(株)  
介護福祉士 介護支援専門員  
代表取締役 藤原 宏基

2週間体験利用受付中!  
詳しくはこちら >

日々更新中！公式サイト・SNS

公式サイト ブログ

Facebook YouTube

お知らせ お知らせ一覧 >

セミナー

【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！  
ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」

【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内 セミナーをもっと見る >

4月16日(火)  
14:00~16:00

管理職養成2024

管理職 リーダー 本部 管理者

4月17日(水)  
14:00~15:30

介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...

会員限定 リーダーズ・プログラム

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当+α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当+α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当+α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当+α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当+α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）  
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

73

## こちら是非ご覧ください！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して  
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を  
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！  
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに  
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画+数分のショート動画もあります！  
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ  
介護と介護事業を守り、よくする！  
1000人の仲間たち\(^.^)/  
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！  
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して  
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報+特典動画！  
特典動画は…これから用意しますm(\_\_)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

74

# 天晴れ介護サービス法定研修

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌